

第8回 本屋の店員さんが選ぶ

シニア川柳 入選作品発表

～お題～

「記憶」 または 「新しい」

ー作品の掲載は順不動ですー

大賞

北は北海道から、南は沖縄県まで、
総人数314人794句の応募がありました。
たくさんのご応募ありがとうございました！

ばあさんの

主語飛ぶツバ飛ぶ

記憶飛ぶ

(ひめりん)さん 57歳

日本丸

舵をよろしく

新総理

(八巻 テル子さん 93歳)

また探す

ケイタイ・眼鏡・

あごマスク

(こん太さん 58歳)

新しき

友増え楽し

愛菜家

(八尾のひらりんさん 72歳)

ナビを無視

記憶をたどり

道迷う

(小野寺 浩さん 59歳)

貴重品

置く場所変へて

見失う

(佐藤 昭子さん 85歳)

嘘だけは

妻の記憶に

時効なし

(かばくのかばさん 68歳)

シニアには

近いと合わせ

眼と記憶

(三木首相さん 63歳)

我が記憶

上書きされず

フォーマット

(なりじいさん 69歳)

その頭脳

他に使えよ

新手詐欺

(晴耕雨読さん 74歳)

シニアの皆様、新型コロナウイルスの影響で出不精になっていませんか。正体不明の感染症が流行しているということはとても怖いものです。その影響のためか、今までにない多くの作品が投稿されました。一関の人口をみたときにそれはとても驚異的な数字です。今回は新政権とやはりコロナに関わる作品がとても多く、不安を表している句が次々と出てきました。さて、今回の最優秀作ですが、順位に多少の違いがあるものの、全員の票を集めました。そのリズムはとても素晴らしく、声に出して読んでみたときに圧倒されてしまいました。

『次世代に 語る本屋の 棚構成』 書店員62歳

主催：一関市シニア活動プラザ

協賛：一関市書店組合